

「平成30年台風21号」による非常用 自家発電設備の稼働・被害状況報告について

平成30年9月4日から5日にかけて上陸した台風第21号で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

平成30年9月4日から5日にかけて平成30年台風21号が日本に上陸し、暴風等により多数の建物の倒壊、死傷者を出すなどの大きな被害をもたらしました。また、この台風の影響で関西電力管内の電力供給に損害を与え、約219万戸と広範囲に停電が発生しました。

内発協では、自然災害時においても**非常用自家発電設備（以下、自家発電設備）**に要求される機能が維持されているかを確認し、もしくは不都合がある場合は、設備の信頼性向上を図るため、調査結果から得た知見を今後に反映することを目的とし、震度6強以上の地震や自然災害等により広域の停電が発生した場合に、自家発電設備の稼働状況、被害状況等を調査しております。

今回発生した平成30年台風21号につきましても、同様の調査を行いましたので、以下に調査結果の概要を報告します。

1. 調査対象の地域

平成30年台風21号により、停電の発生した地域を含む8府県（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県、福井県、三重県）

2. 調査対象の設備

昭和50年～平成30年7月の期間中に、当時の会員製造会社の全社から内発協に設置報告のあった自家発電設備45,374台。

3. 調査方法の概要

調査対象地域に設置されている自家発電設備の主要製造事業者に対してアンケート調査を行い、19社から回答がありました。

4. 自家発電設備の始動及び 運転状況

台風21号による自家発電設備の異常・被害等の報告があったものは59台であり、このうち停電時の稼働不良については不始動が9台、異常による停止が37台でした。その他は、ほとんどが自家発電設備の運転自体に影響のない異常でした。

また、このうち風雨による破損や浸水による異常・被害は9台、燃料切れによる停止は16台であり、設置されている自家発電設備としてはほとんどが正常に機能していたものと推察されます。

始動しなかった9台の原因内訳

不始動の原因	台数
設備の故障・異常*	2
各系統の故障・異常（損傷等）* 冷却水（0）、潤滑油（0）、燃料（0）	0
燃料切れ	0
他設備の異常	0
メンテナンス不良	4
操作ミス	0
その他	0
不明	3

異常により停止した37台の原因内訳（複数原因あり）

異常停止の原因	台数
設備の故障・異常*	1
各系統の故障・異常（損傷等）* 冷却水（7）、潤滑油（2）、燃料（3）	12
燃料切れ	16
他設備の異常	0
メンテナンス不良	2
操作ミス	0
その他	5
不明	4

※故障・異常にはメンテナンス不足などによるものを含む

5. その他

予定していた備蓄燃料を使い切ってしまう、燃料補給後に空気抜きができず、不始動又は始動後停止したとの報告が多くありました。また、運転は継続されたものの外箱等が破損したとの報告もありました。